



夏季授業も充実！

3年生「スケートボード体験 in ムラサキパークかさま」

7/21(金)に、笠間芸術の森公園あそびの杜にある「ムラサキパークかさま」でスケートボード体験をしました。とても充実した施設の中で、ヘルメットやプロテクターを着けての完全防備で臨みました。

始まったばかりの頃は、デッキ(板)の上に立つとフラフラしていたのに、コーチの指示通りに練習を重ねることで、あっという間に上達しました。転んでも、失敗しても、あきらめずに楽しそうに練習する皆さんの姿を見て、とても頼もしく思いました。(爆笑シーンもたくさんありましたが(笑))最後の頃になると、誰もが上手にバランスをとって滑れるようになりました。「今度家の人ときてまたやりたい!」という声も聞こえてきました。



4年生「涸沼川浄水場見学」

7/26(水)に社会科の「水はどこから」の学習の一環として、涸沼川浄水場を見学してきました。身近に流れている涸沼川の水が、自分たちの生活で使われる水になるということ学びました。実験では、涸沼川から汲んだ濁りのある水が、薬を混ぜることにより汚れが沈殿し、さらにろ過することにより、透明できれいな水に変わる様子を見て、子どもたちはとても感動していました。その他、普段見ることのできない地下の施設を特別に案内してもらい、最後には、浄水場でつくられた冷たいおいしい水をいただきました。



5年生「涸沼川自然観察」

7/25(火)に涸沼川(上加賀田付近)において、総合的な学習の時間「地域の自然を調べよう」の学習を行いました。今回は「アサザ基金」の飯島様のほかに、スタッフの方が2名同行してくださり、採集のお手伝いをしてくださいました。子供たちは岸辺での観察・採集でしたが、開始早々、児童が絶滅危惧種である水生昆虫の「タガメ」を捕まえ、飯島様も驚いていました。その他、エビやアユ、コイ、コクチバス、ヤゴ、ヨシノボリなど、たくさんの生物を観察することができました。

川の水の透明度は高かったのですが、アユの泳いでいる水面に、洗剤の泡のようなものが流れていたのが気になりました。この学習を通して、自然を守っていくことを、今まで以上に意識することができたと思います。



5年生「戦争と平和を考える朗読会」

オリブの会の皆さんによる戦争と平和を考える朗読会が行われました。昨年度、同じこの時期に、5~9年生(8年生は職場体験のため不参加)を対象に行われましたが、子どもたちは、朗読会を通して、戦争と平和に関する新たな考えをもつことができたことを踏まえ、今年度は、5年生を対象に実施しました。

終戦から73年経ちますが、子どもたちは、紙芝居を交えた朗読の原爆投下の場面で、驚きのあまり息をのむ様子が見られました。過去の戦争の様子を知り、改めて平和の大切さを考えたことと思います。朗読会を終えて、教室に戻ってからも、戦争と平和について、友達と真剣に話し合う場面が見られました。心に残る学習ができたと思います。



6年生「防災学習」

笠間市役所危機管理課から3名の職員をお迎えして、防災学習が行われました。防災についての説明を聞いたり、避難所体験を

したり、学校の周りの防災マップを作成したりと、多くの学びがありました。参加のあった保護者の方にも、活動をサポートしていただきました。ありがとうございました。防災について、学校では避難訓練をしたり、自分の命を自分で守ることを指導したりしていきます。ご家庭でも、在宅時の防災について話題にしていいただければと思います。



6年生「社会を明るくする運動」

この運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人や非行をした少年たちの更生についての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

子どもたちは、社会を明るくする運動作文コンテスト入選作品の朗読を聞いたり、保護司会・更生保護女性会の方々の説明を受けたりして、感じたことや思ったこと、気付いたこと、やってみたいことなどについて、自分の考えをまとめることができました。新たな視点をもつきっかけになったと思います。



7年生「陶芸教室」

みなみ学園サポーターズでもある田山健司さんに教わりながら、7年生が陶芸作品作りに取り組みました。「どんな作品にするか」という構想段階から意欲的だった子どもたち。アイデアいっぱいの素敵な作品ばかりです。これらの作品は、来年の「全国こども陶芸展 in かさま」に出品される予定です。



8年生「陶芸教室」

7/21 に大津晃窯さんにて陶芸教室を行いました。初めて使うろくろに最初は悪戦苦闘していましたが、だんだんとコツをつかみ、お皿や花器、どんぶり等自分のイメージする形に仕上げることができました。

9月には焼きあがった作品の絵付けをさせていただきます。完成が楽しみです！



7/19 120点！英語プレゼンテーションフォーラム笠間市大会

SDGsの取組をテーマにした英語によるスピーチを披露した学校代表である8年生5名の皆さん。原稿を考え、暗記し、人に訴えかけるように英語で表現することは、とてつもなく難しいことです。さらに、自分たちの考えを相手に分かりやすく伝えるためのプレゼンテーション資料の作成にも、大変な苦労があったかと思います。「どうしたらよくなるか」を仲間と追求し、毎日練習を積み重ね、子どもたちは、着実に上達していきました。何度かリハーサルを見せてもらいましたが、大会本番のプレゼンテーションが一番心に響きました。たくさんの観客が見守る中、さぞかし緊張しただろうに、練習してきた成果を発揮するとともに、仲間を信じる姿に、とても感動しました。(文責：野尻)

